

福竜丸だより

— 都立・第五福竜丸展示館ニュース —

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2
都立・第五福竜丸展示館内
電話(521)8494

12月来館者数 2,975名
月平均来館者数 3,628名
日平均来館者数 139名
通算来館者数 195,913名

記念すべき新しい年に

心に残る事業の達成を!

主張

●記念すべき年・一九八一年
ことしは第五福竜丸展示館開設五周年とともに平和協会創立七周年に当る記念すべき年です。この二度とない年を本当に記念する道は、永く心に残る事業の達成であり、その観点から幾つかの企画が提唱されています。そして、そのうちの幾つかはすでに発足ははじめています。

●保存運動史の出版
第五福竜丸保存運動史は、広田専務理事を中心に、昨年末まで一応、脱稿しましたが、このたび、白石書店から出版されることとなり、すでに具体的な編集作業に入っています。恐らくは、本年二月中旬ごろには発行される予定です。願わくは、一人でも多くの方が購入して下さることです。

●諸行事に新しい息吹を
新春風あげ大会、三・一ビキニデー記念集会、展示館開設記念祝賀会・記念集会など毎年ひらかれてきている諸行事に、今年はとくに新味を加え、いわゆるマンネリから脱却するよう努力したいと思っています。

●原水爆資料室の開設
すでに三宅会長からも何度か

●知る集いの復活・強化
この記念すべき年のはじめに“ビキニ事件を知る集い”が復活、第14回が一月二十九日にひらかれます。

たえば、三・一記念に当たっては二月末か三月中旬まで展示館で記念写真展をひらくこととし、また六月の展示館開設記念集会は、規模も内容も画期的なものにしたいといまから準備をつよめます。

●残された問題
アメリカの意図は、法律上の責任は負わない、だから賠償とか補償とは言わず、慰謝料であるとしたことで、日本政府はこれを容認したのである。

その際に注目すべき米側の態度は、支払金は補償ではなく飽くまで見舞いであると主張していることである。これを翌五五年一月四日に重光外相とアリソン駐日大使との間の交換文書によると、「米政府はマーシャル群島での原子核実験による日本の被害に対する補償として法律上の責任の問題と関係なく、慰謝料として二〇〇万ドルを日本政府に支払う」となっている。

△来館者の増加、とくに団体見学の激増とともに、展示館の運営も一段と強化しなければなりません。また、この福竜丸だよりの役割もいっそう大きなものとなります。編集スタッフ一同身の引きしまる思いです。

第五福竜丸とともに
謹賀新年

事務局長 鹿田敏彦
三尾喬英
秦小夜子
他一同

連載1

ビキニ事件の追跡

手切金だった
二百万ドル

●補償の要求
ビキニ事件はいろいろな点で重要な問題を残しているが、今月から少しづつ指摘してみる。まず、ビキニ水爆被災事件にたいする補償問題をみよう。

●補償ではない手切金
事件のおこった一九五四年三月から、早くも日本政府は水産業界の圧力のもとに対米補償を要求してアメリカ政府に交渉を開始していた。

さらに「日本政府はこの二〇〇万ドルをビキニ被災に関する最終的解決として受諾する」という念書を日本政府に入れさせている。

△前年から紙上を通じてお願していることですが、みなさまからの血の通った通信をどうぞ。△さええと富士の見ゆる日夢の島、北風つよく吹き渡るなり

新春・学び語る／主催 第五福竜丸平和協会

第14回・ビキニ事件を知る集い

1月29日(木)夜6時〜9時
江東区総合区民センター
入場無料／資料代として三〇〇円

●おはなし
核軍拡の現状と人類への警鐘
―国連事務総長報告「核兵器にかんする包括的研究」について
千葉大助教 川崎 昭一郎

●映画・スライド・報告
パラオ視察の旅から
81年1月1日独立した非核憲法のパラオ諸島・ペラウ共和国を訪問した代表団の報告と映画上映

編集後記

△ことしの展示館は、一月四日に新しい年の扉をひらき、好天に恵まれて二〇名の来館者で発足しました。今後の展示館の発展を啓示するものです。

(広田重道)

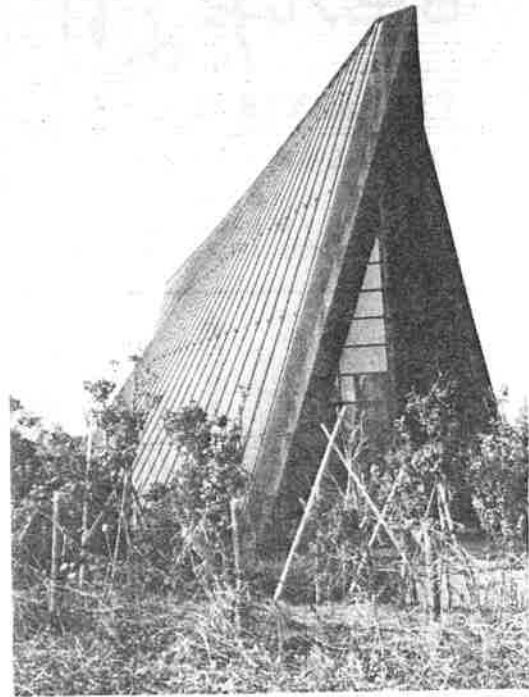
(H)

原水爆資料室(仮称)の開設へ全力

募金と意見を お寄せ下さい

目標七五〇万円

平和協会では、協会創立七周年記念事業の重要な柱として、「原水爆資料室開設」を計画し一面の「主張」でも触れました



通り、目標総額七五〇万円に登る募金活動をはじめました。協会では、ビキニ水爆被災事件並びに第五福竜丸に関する資料及び資材を、収集・保存・一般公開するための原水爆資料館建設を目ざし、当初は、第五福竜丸展示館の附属施設として、また、一九七八年秋以降は、協会が自力で建設する方向で努力し続けて来ましたが、残念ながら

ら、諸般の事情で実現に至りませんでした。

しかし、各地に分散し、冬眠しつつある原水爆被災関係の資料を収集・保存・整理し、公開するための資料センターの設置が、日本学術会議をはじめ、各方面から強く要望されています。そこで、当面、実現可能な計画として、貸事務所あるいは賃貸マンションを利用した小規模な「原水爆資料室」の開設を目ざすこととなりました。どうぞ、皆様の絶大なご支援をお願い致します。

ご支援に当たっては、募金だけでなく、建設的なご意見、ご要望をお寄せ下さることを合わせてお願い致します。

◆募金の送り先 平和協会。振替・東京7139253。三菱銀行深川支店・普通預金口座〇八六一四二八三七三二。募金用紙を準備中です。

祝
第五福竜丸展示館開設五周年
第五福竜丸平和協会創立七周年

日本学術会議会員

中島篤之助

金沢大学教授

小川政亮

見崎吉男

来館者の 声から

△先生・父母から▽

◆児童も父母もそれぞれに感銘を受けて帰って参りました。頂いた資料で事後の勉強もいたしました。館長さんのお話くださったことも印象深く残りました。今後館長さんや館の方々の展示館に対するお気持ち、幅広く多くの方々に伝わるよう、私も及ばずながら努力したいと思います。(担任・松岡陽子)

◆私が一番感動させられたのは、何といっても第五福竜丸を見た時です。船員さんの衣服、また、第五福竜丸から採集されたという水爆の死の灰、熱で焼けた石や瓦など、本当に死の灰を目の前にして二度とこんな恐ろしいことはない、全世界にやらせてはいけないという気持ちになりました。今度の社会科学見学は、子ども

を初め、われわれもとても意義のある見学でした。(二組・細貝) △生徒たちから▽

◆私は灰がふってきただけで死んでしまうなんて、かわいそうだし、おそろしいものなんだなと思ひ、なんだか心がじーんとしてきました。てんじ館に入り、第五福竜丸を見たとき、びっくりしました。よそよりすごく大きかったからです。船ははげでいて、ぼろぼろになっているのです。私は死の灰が入っているびんを見つめました。

この灰がふってくるだけで、死んだり、びょうきになるなんてしんじられませんでした。でも、ほんとうにあったことなのだからと思うと、おそろしく、こわくなりました。ひ害をうけた人のしゃしんがあつて顔がやけて、かわいそうでした。ひ害をうけた人たちは、くやしいだろう。すててあつた船を、よくここまでやれたな。もしも、私がかの船を見なければ、原水爆がどんなに、こわくて、おそろし

いということが、よくわからなかったと思います。でも、この船を見て、よくわかりました。そして、これからは原水爆がなごはつかわなくしようと、私は思いました。(有賀 夕倫)

◆バスに二時間も乗り、やっと江東区の第五福竜丸へ着いた。すごい昔の船だった。かなりの水爆にあつたせいかわ、ボロボロペンキがおちていた。かなり大きな船なのに、あれでも小さい漁船だそう。私はとつてもおどろきました。

夢の島公園でお弁当を食べて遊びました。遊びながら発見したのですが、地面がカーペットのようにとてもやわらかかったです。それにごみをうけた上に土をかけたとは信じられません。ごみのおいもみせさん。そこはなんと海ばつ0メートル地帯だそうです。(滝沢純恵)

足立区立関原小学校四年生の社会科学見学感想集より。12月4日、一九〇名で来館。

静岡市南町16の23 県評会館内
自治労静岡県本部
執行委員長 松本 広

新年を祝し
貴協会の発展を
日本海事検定協会
職員労働組合芝浦支部